

令和2年度  
平和学習会の実施内容

## 阿部 純子



### 主なテーマ

手作り紙芝居『ヒロシマの火』を観て、戦争、原爆の悲惨さについて考え、みんなでお話し合う

### 講話内容

- ・紙芝居『ヒロシマの火』（原爆投下から数日後にヒロシマの火を見つけ、それを福岡県星野村に持ち帰り、火を絶やさず守り続けてきた少年の実話）の音読

## 大西 郁



### 主なテーマ

第二次世界大戦中の生活や松山空襲の体験をきいて、戦争の悲惨さについて考える

### 講話内容

- ・昭和20年頃の暮らしや勤労奉仕の話
- ・松山大空襲の日の悲惨な体験
- ・松山大空襲の日の翌日、グラマン戦闘機に遭遇した話

# 須賀 一成



## 主なテーマ

第二次世界大戦中、松山空襲の体験や戦争遺児となった話をきいて、戦争の悲惨さについて考える

## 講話内容

- ・戦争の記憶と戦争で亡くなった父の話
- ・防空壕と松山大空襲の体験
- ・松山大空襲の被害状況について

# 竹内 よし子



## 主なテーマ

えひめグローバルネットワークが取り組む、モザンビーク平和支援活動を通じて世界平和の振興について考える

## 講話内容

- ・子ども兵や環境破壊・食糧難など世界各地での現状と課題
- ・原爆体験談のDVDを鑑賞して戦争の悲惨さを知る

# 中山 厚



## 主なテーマ

第二次世界大戦中、松山空襲の体験や大戦後の生活の話をきいて、戦争の悲惨さについて考える

## 講話内容

- ・第二次世界大戦開戦後、徐々に戦況が悪化し、日本軍の戦いが捨て身の戦いとなり、特攻隊などで多くの人たちが犠牲になった話
- ・戦争によって貧しく我慢が続いた学生時代の様子
- ・松山大空襲の日、兄弟3人で空襲のあった自宅から逃げて助かった話

# 平岡 恵行



## 主なテーマ

第二次世界大戦中、大阪での空襲の体験や大戦後の生活の話をきいて、戦争の悲惨さについて考える

## 講話内容

- ・勤労学徒として動員された工場で空襲にあった話
- ・勤労学徒を終えて大学に戻る道中、電車の前の車両が機銃掃射にあった話
- ・就職で久留米に向かう時、予定を早めて大阪を出発したことによって、広島原爆の被害をまぬがれた話

## 実施一覧

開催日時	実施学校名	学年	参加人数
7月13日	素鷲小学校	6年生	79名
7月13日	道後小学校	6年生	117名
7月13日	和気小学校	6年生	107名
8月27日	小野小学校	6年生	140名
9月4日	生石小学校	6年生	147名
9月4日	湯山小学校	6年生	68名
9月4日	八坂小学校	6年生	25名
9月11日	福音小学校	6年生	92名
9月14日	姫山小学校	6年生	113名
9月14日	北久米小学校	6年生	113名
9月14日	日浦小学校	6年生	8名
9月16日	高浜中学校	1・2年生	92名
9月25日	正岡小学校	6年生	12名
9月25日	立岩小学校	6年生	7名
9月25日	浅海小学校	5・6年生	5名
9月25日	難波小学校	6年生	10名
10月6日	味生小学校	6年生	139名
10月6日	みどり小学校	6年生	112名
10月6日	東雲小学校	6年生	75名
10月22日	久枝小学校	6年生	125名
10月30日	味酒小学校	6年生	166名
10月30日	雄郡小学校	6年生	69名
11月18日	湯築小学校	6年生	80名